

「食品残さリキッド飼料製造装置の開発」

『本事業は、日本中央競馬会及び財団法人 全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて、平成21～23年度事業・飼料化機械改良実証事業として実施しています。』

リキッド飼料とは

主に食品残さ(エコフィード)から作られる液体の飼料(含水率 約80%)

材料： **液状** 水、牛乳、ジュース + **固形分** パン、米、麺、野菜・・・
+ サプリメント (+PH調整) (+発酵)

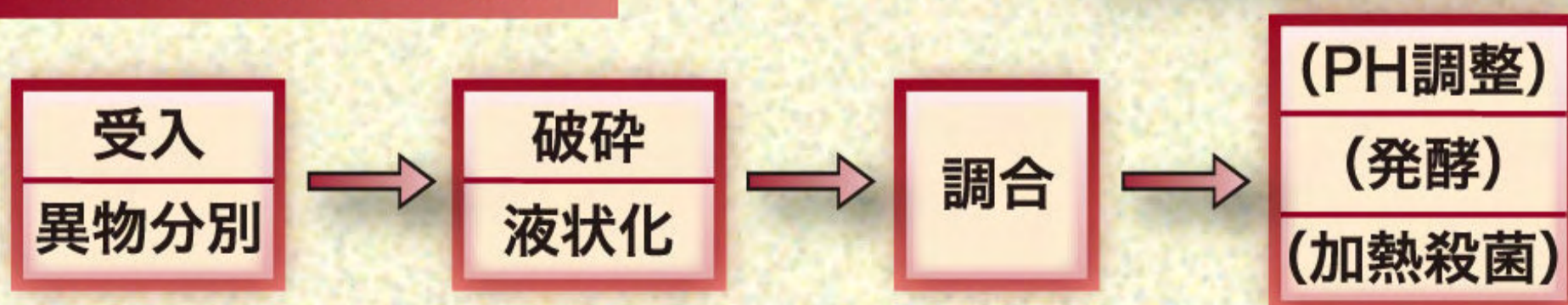
リキッド飼料の例



食品残さリサイクルフロー



●リキッド飼料製造の流れ



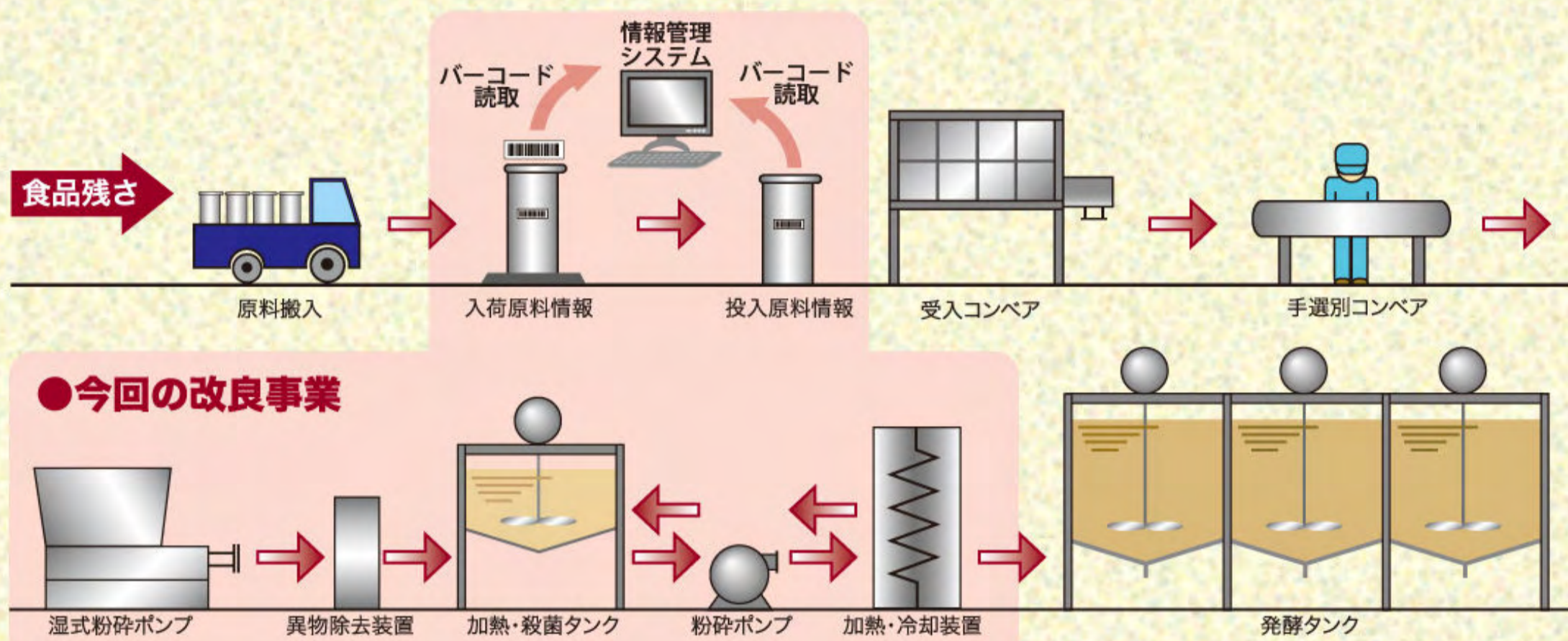
『本事業についてのご質問などありましたら、(財)畜産近代化リース協会へご連絡ください』

〒106-0032 東京都港区六本木2-1-13 TEL 03-3584-0883

リキッド飼料のメリット

- 疾病率の低下（呼吸器系の病気が少なくなる）
- 飼料費の削減（穀物・配合飼料は年々高騰傾向）
- 飼料要求率の改善（増体率の増加）*飼料要求率とは体重を1kg太らせるのに必要な餌の量
- 食品副産物・廃棄物を利用（マテリアル利用）（地球にやさしい食品リサイクル方法）

改良したリキッド飼料製造 フローシート



●今回の改良事業

既存装置の問題点

- うどん生地、繊維類等、破碎が苦手な食品残さがある。
- スクリューコンベアのケーシングに食品残さが残り、清掃やメンテナンスが困難
- 80℃ 3分の熱殺菌が確実に行われるシステムがない。

改良した装置の特徴

- うどん生地、繊維類等破碎が可能となるとともに破碎粒度も細かくなった。
- 異物除去装置も開発し、以前よりも異物の混入が少なくなった。
- 80℃ 3分の熱殺菌及び短時間での冷却が確実に行われるシステムができた。
- エコフィード認証が可能になった。

湿式粉碎ポンプ設備 導入例



加熱・殺菌システム 導入例

